

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政を
もっと
身近に



<http://www.araikinuyo.jp>

今年度の所属は産業労働常任委員会に ウイルス下適応の事業改善助成に着目

本会議の議決前に議案等の案件を専門的、詳細に審査する常任委員会は議員活動にとって大切な活動の場ですが、私は今年度、産業労働常任委員会に所属することになりました。同常任委は私たちの経済活動、生活にかかわる幅広い分野を担当する部門で、県の組織では産業労働局と労働委員会にかかわる部門です。委員会の審議で私は新型コロナウイルスの影響下での中小企業・小規模事業者への県を通じた支援策に特に着目しています。

また、国の第二次補正予算を受け、6月23日に県から議会に約1,492億円の追加補正予算案が提案されました。主な内容としては、

○県内経済の再開と回復に向けた支援に、46億16万円(◇融資限度額引き上げに係る利子補給:11億5,200万円◇中小企業・小規模企業の事業活動の継続に必要な感染防止対策に要する経費の補助など:10億円)

○雇用対策や生活支援に、158億1,352万円(◇新型コロナの影響による失業者の就業促進:3,658万円◇ひとり親世帯への給付金の支給:2億2,878万円)

○医療情報体制の維持と感染拡大防止対策に、693億1,852万円(◇重点医療機関や集合検査場の運営・患者受入れに必要な病床確保に対する空床確保料への補助など診療体制の維持:316億3,379万円◇患者受入のために医療機関が行う設備整備に対する補助・医療機関等や薬局が行う感染拡大防止対策に対する補助など:330億9,572万円◇市町村が行うコロナ対策に対する補助:37億8,384万円)

○福祉サービスの提供体制の維持に、95億9,298万円(◇福祉施設におけるマスクや消毒薬の購入など:85億7,124万円◇介護サービス事業所のサービス継続に対する補助など:8億1,691万円)

○学びの保障などに、47億3,933万円(◇学習の不足などを支援するための学習指導員やスクールサポートスタッフの配置:26億4,098万円◇サーモグラフィー等感染症対策用品の購入など:9億9,442万円)

○医療従事者や介護・障害福祉施設などの職員に対する慰労金の支給に、443億4,102万円。



コレが言いたい!

緊急事態宣言が解除されましたが、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により未だ低迷が続いております。今回の補正予算、約1,514億円のうち経済対策・雇用対策は約48億円です。今回の補正予算の財源はほとんどが国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」です。事業活動に影響を受けている事業者の皆さんへ更なる支援のため、県の貯金でもある財政調整基金を崩すなどして、今後も継続的にスピード感のある支援を行う必要があると考えます。

今月の
ひと言

7月6日(月)、私が委員長を務める予算委員会が開催されます。当委員会は、予算及び予算関係の議案で、2以上の常任委員会に関係するものを審査するものです。委員会の様子は、7月20日18時30分~20時35分、22日18時30分~19時55分にテレビ放映される予定です。

磯子あれ? これ?



滝頭八幡神社 (磯子区原町)

滝頭八幡神社は、八幡橋の根岸側に位置していて当初は、根岸村の鎮守でした。

江戸時代の初めの慶安4(1651)年に幕府の検地によってこの一帯が、当時の根岸村から滝頭村へ編入されました。そのことで、神社も滝頭村の鎮守となりました。

その後、明和3(1766)年に八幡神社が根岸、滝頭両村の話し合いで根岸村へと遷座されることになり、滝頭村には当地に改めて神社を創設することになりました。

当社の祭神は、八幡大神(誉田別尊(ほんだわけのみこと)、三島明神(大山祇命(おおやまずみのみこと)、氷川明神(須佐之男命(すさのおのみこと)と江戸時代のはじめ、この地一帯を天領としていた徳川家の東照宮(徳川家康公)の四社合祀で四神が祀られています。

明治5(1872)年に建てられた拝殿の周りには十二支の彫刻が施されています。また、関東大震災で被災した鳥居や石垣、神殿の修復を記念して大正15(1926)年石碑が立てられ、盤面には日露戦争で活躍した東郷平八郎元帥の書が、刻まれています。

参考:磯子の史話、滝頭八幡神社禰宜のはなし

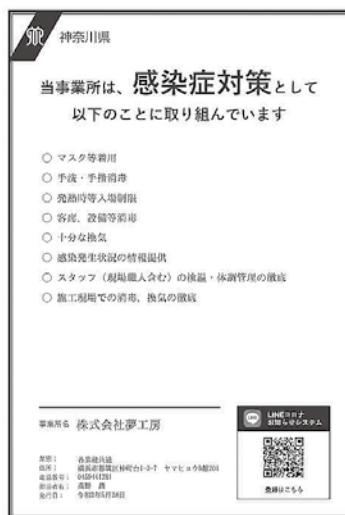
新型コロナ感染防止対策-感染防止対策取組書-LINEコロナお知らせシステム-

県では、店舗などの事業所で取り組む感染防止の対策が一目で分かる「感染防止対策取組書」を発行しています。取組書を店舗やイベント会場に掲示することで、事業者の方がガイドライン等に沿って行っている感染対策が分かりやすく示され、県民の皆さんが安心・信頼して店舗や施設などを利用できます。

同時に、取組書とともに発行するQRコードを利用した「LINEコロナお知らせシステム」も提供しています。このシステムは、施設の利用者が「感染防止対策取組書」に印字されたQRコードを読み取り来店日時等の情報を登録することで、施設利用者に感染者が確認され、保健所の判断によって同じ時間帯の利用者に濃厚接触の可能性が疑われる場合に、対象者にメッセージが送信される仕組みです。

引き続き事業者が安心して経済活動を行え、県民の皆さんが安心・信頼して店舗や施設などを利用できる取り組みを進めてまいります。

感染防止対策取組書(見本)



あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生

- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 予算委員会委員長
- かながわ自民党女性議員局長

